

近畿農政局地方参事官室（京都府担当）からのメール情報 第19号  
2017. 3. 10

各位

近畿農政局地方参事官室（京都府担当）

時下益々ご清栄のことと存じます。  
日頃より地域農政の推進に格段のご理解とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

農政に関するメール情報を以下のとおり配信いたします。

皆様の地域の農業を元気にする取組に、少しでもお役に立てば幸いに存じます。

~~今回お知らせする情報~~

- 米政策の見直しに係る説明動画の公開について
- 米に関するマンスリーレポート（平成29年3月号）の公表について
- 平成28年産米の契約・販売状況、民間在庫の推移等について（平成29年1月末現在）
- 「近畿農業の概要」を更新しました（平成29年2月）

[illegible]

- 米政策の見直しに係る説明動画の公開について

30年産からの米政策見直しへの円滑な移行に向け、機会あるごとに説明・意見交換を実施しているところですが、更に多くの生産者及び関係者の方々に理解を深めていただくため、インタビュー形式で農林水産省の柄澤政策統括官が説明する動画を製作しました。

※ 動画は、以下のリンク先からご覧いただけます。

[http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome\\_seisaku\\_kaikaku.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_seisaku_kaikaku.html)

動画は、Youtubeでも公開しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=-Enp5j-DGWQ>

【お問い合わせ先】

農林水産省政策統括官付穀物課

電話番号：03-6744-7135

○ 米に関するマンスリーレポート（平成29年3月号）の公表について

「米に関するマンスリーレポート」は、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としており、今般、平成29年3月号について取りまとめました。

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。

[http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku\\_tokatu/kikaku/161206.html](http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku_tokatu/kikaku/161206.html)

※ これまでに公表されたマンスリーレポートは以下のリンク先でご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

【お問い合わせ先】

農林水産省政策統括官付農産企画課

担当者：佐々木、石田、林

T E L：03-6738-8973

○ 平成28年産米の契約・販売状況、民間在庫の推移等について（平成29年1月末現在）

米政策の見直しにおいては、生産者や集荷業者・団体の主体的な経営判断

今回、平成29年1月末現在の契約・販売状況、民間在庫の推移等の状況について、米の出荷・販売業者、団体等から報告のあった内容を取りまとめましたので公表します。

[http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku\\_tokatu/kikaku/170224.html](http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku_tokatu/kikaku/170224.html)

TEL : 03-6738-8973

<http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/gaiyo/kinkigaiyo/saisin.htm>

**T E L : 075-414-9620**



逆引き事典は、農林水産省のホームページ上で、「利用者」の区分や「対象とする目的」等を選択することにより、使える補助金等を探すことができ

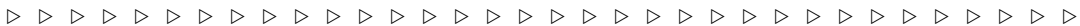
また、「優良事例」についても検索することができますので、ご活用ください。

<https://www.gyakubiki.maff.go.jp/appmaff/input>

[http://www.maff.go.jp/j/g\\_biki/jirei/index.html](http://www.maff.go.jp/j/g_biki/jirei/index.html)



私たち農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくことを使命として、常に国民の期待を正面から受けとめ、時代の変化を見通して政策を提案し、その実現に向けて全力で行動します。



[～日本の農業、もっと強く。～](#) ←ここをクリック  
(農業競争力強化プログラム)